

1

指宿市との姉妹都市の いきさつを教えてください

《40歳代女性》



に、ミスの派遣などの交流を続けてきました。
このような交流を続けていたところ、平成5年に指宿市長から姉妹都市提携の申し入れがありました。

声 千歳市が、鹿児島県指宿市と姉妹都市になったから、今年で20周年を迎えることを知りました。
速く離れた指宿市とは、どのようないきさつで姉妹都市になったのか、教えてください。

答 鹿児島県指宿市との交流は、昭和48年に指宿市の一行が「菜の花キャンペーン」のPRとして、千歳に来られたことが始まりになります。

その後も、指宿市からは、「支笏湖水濤まつり」に、千歳市からは「指宿アロハまつり」に、それぞれの観光イベントを中心に

千歳市は、同年12月の定例市議会において、全会一致で可決し、平成6年4月15日に指宿市制施行40周年記念式典の席上で調印式が行われ、千歳市としては、国内で初めての姉妹都市提携となりました。
この提携により、両市の特色を生かして、経済や小学生の相互派遣など、各分野での幅広い交流が始まりました。
指宿市とは、市職員の交流も行っており、6月10日号の「広報ちとせ」では、指宿市から派遣されている花木さんを紹介しています。

交流推進課国際交流係
☎(24)0482

声のらん

「声のらん」は、主に「市長への手紙・ポスト」や「広報広聴モニター」の声と、その答えをご紹介します。このほかに、皆さんからの一般的な質問などもご紹介いたしますので、疑問に思っていることなどを、お手紙などでお寄せください。ただし、他の市民の方にも参考になる内容を採用させていただくため、全てを掲載することはできません。また、質問の内容を確認する必要上、お手紙には必ず連絡先と名前をご記入ください。【〒066-8686 / 千歳市東雲町2丁目34 / 千歳市企画部広報広聴課 宛】

2

使用済み小型家電回収ボックスの投入口は、なぜ、高い位置にあるのですか

《30歳代女性》



声 使用済み小型家電の回収は、今まで捨てられなかったものが整理できるのもとても便利です。ただ、この回収ボックスは、投入口が高いところにあるので、入れづらいと思います。

答 市では、4月から家庭で使わなくなった小型家電を回収して、資源のリサイクルを進めています。ご質問のありました小型家電の回収ボックスの投入口が高いところにあるのは、次の理由によるものです。

①ごみ箱と間違わないようにするための工夫です。

②投入した小型家電が抜き取られないよう、盗難防止のためです。
③個人情報保護のため、回収ボックスの中を見つらくしています。
④投入口を開閉するときの音、投入した小型家電が落ちるときは、音は、抜き取りやいたずらを防ぐためです。

投入した小型家電は、最終的には破砕処理をして、リサイクルしますので、回収ボックスの中で壊れても問題ありません。ただし、蛍光管、電球などが投入されると、中で壊れてしま

い、リサイクルの支障になります。電池やレジ袋なども含めて、「回収しないもの」は、絶対にボックスの中に入れてください。皆さんのご協力をお願いします。

廃棄物対策課資源循環推進係
☎(23)2110